

#### (4-1) 文化課所管事業

1. 文化財総務費	67
2. 指定文化財管理	68
3. 埋蔵文化財分布調査	69
4. 民間開発に伴う緊急発掘調査事業	70
5. 文化財普及啓発事業	71
6. デジタル資料館事業	72
7. 重要文化財御経塚遺跡出土品保存修理事業	73
8. 文化財保存修理事業	74
9. 文化財施設管理事業	75
10. 中林土地地区画整理事業に伴う発掘調査	76
11. 西部中央土地地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査	77
12. 文化振興総務費	78
13. 市美術展	79
14. 椿まつり事業	80
15. 文化会館管理	81
16. 芸術鑑賞事業	82
17. 情報文化振興財団	83
18. 椿サミット交流事業	84
19. 北国街道にぎわい創出プロジェクト(文化課分)	85

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		文化財総務費				所管	部	教育文化部		
							課	文化課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務			
							ソフト事業			
							単独事業			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
						事業開始	**	年度		
					事業終了	**	年度			
実施根拠とな る分野別計画	教育振興基本計画			根拠法令	文化財保護法第190条 野々市市文化財保護条例14条					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が文化財関係団体・市民に			事業の目的	文化財関係団体の活動促進					
事業の内容	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会の活動助成 ・文化財の調査・指定			令和 2年度活 動実績	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会の活動助成 ・文化財の調査・指定					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	市指定無形文化財の件数（かつこ内数値は当該年度に増加する件数）			件	4	1 (0)	1(0)	1(0)	
事業の コスト	事業 内訳	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算				
		国庫支出金	(千円)	0	0	0				
		県支出金	(千円)	0	0	0				
		地方債	(千円)	0	0	0				
		その他	(千円)	0	0	0				
		一般財源	(千円)	1,282	781	658				
		事業費計	(千円)	1,282	781	658				

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会の活動助成 ・文化財等の調査・指定	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会の活動助成 ・文化財等の調査・指定	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会の活動助成 ・文化財等の調査・指定

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	市内に残る文化財の保存及び活用を図るため、文化財の調査・指定、文化財保護審議会の開催、歴史関係団体への助成を行っていく。特に無形民俗文化財の調査については継続して行い、文化財指定を目指したい。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市内に残る文化財の保存及び活用を図るため、文化財の調査・指定、文化財保護審議会の開催、歴史関係団体への助成を行っていく。特に無形民俗文化財の調査については継続して行い、文化財指定を目指したい。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		指定文化財管理			所管	部	教育文化部	
						課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用			区分	自治事務		
						ソフト事業		
						単独事業		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用						
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		事業開始	**
				事業終了		**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	野々市市文化財保護条例第8条、第13条				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	指定文化財の保存・管理とその活用である。				
事業の内容	指定文化財のうち、史跡の清掃、樹木の剪定、芝刈り、除草剤散布、殺虫剤散布を行い、管理の万全を図る。 市指定文化財水毛生家住宅の管理助成を行う。		令和 2年度活動実績	指定文化財のうち、史跡の清掃、樹木の剪定、芝刈り、除草剤散布、殺虫剤散布を行い、管理の万全を図った。 市指定文化財水毛生家住宅の管理助成を行った。 国重要文化財喜多家住宅の管理助成等を行った。				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	管理・助成する市指定文化財数		件	—	8	6	6
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	0		
		県支出金	(千円)	0	0	0		
		地方債	(千円)	0	0	0		
		その他	(千円)	0	0	0		
		一般財源	(千円)	3,571	3,602	2,203		
		事業費計	(千円)	3,571	3,602	2,203		

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	現状のまま維持	現状のまま維持	現状のまま維持

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	市は所有する指定文化財の保存・管理の責務がある。今後も継続して適切に指定文化財の管理を行っていく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市は所有する指定文化財の保存・管理の責務がある。今後も継続して適切に指定文化財の管理を行っていく。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		埋蔵文化財分布調査				所管	部	教育文化部	
							課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 2 ののいちの歴史再発見				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ハード事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第93条、第99条					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が開発事業者に		事業の目的	開発事業に係る埋蔵文化財の取扱について適正化を図る上で、埋蔵文化財包蔵地をより高精度に把握するため。				
事業の内容	小型掘削機による試掘調査を実施し、埋蔵文化財の有無を確認する。		令和 2年度活動実績	長池土地区画整理事業施工予定範囲の試掘調査（4月、10月） 民間開発に伴う試掘調査 9件					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	(数値目標設定になじまない)			**	**	**	**	**
事業のコスト	事業内訳	区分	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算				
		国庫支出金 (千円)	0	0	0				
		県支出金 (千円)	0	0	0				
		地方債 (千円)	0	0	0				
		その他 (千円)	0	0	0				
		一般財源 (千円)	680	665	603				
		事業費計 (千円)	680	665	603				

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	オペレーター付での試掘調査	オペレーター付での試掘調査	オペレーター付での試掘調査

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	市街化が進む野々市市においては、今後も開発に先立つ試掘調査に対応していく。埋蔵文化財の確実な保護のため、埋蔵文化財包蔵地の範囲を適宜見直し、適切な試掘調査を実施する。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		埋蔵文化財の確実な保護のため、埋蔵文化財包蔵地の範囲を適宜見直し、適切な試掘調査を実施する。		

# 令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

## 事業概要

事務又は事業の名称		民間開発に伴う緊急発掘調査事業				所管	部	教育文化部	
							課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ハード事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第93条、第99条			事業の開始・終了年度		
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が開発事業者に		事業の目的	突発的な開発事業に先立って埋蔵文化財発掘調査を実施し、事業の円滑な進行に資するとともに、郷土の歴史を明らかにする。				
事業の内容	開発によって緊急な発掘調査に対応するものである。 その規模によって、年度内に対応する場合と、開発者と協議し、調査を翌年度とするものがある。 内容：現地調査、出土品整理、報告書刊行。		令和 2年度活 動実績	富樫館跡 153㎡ 内容：現地調査、出土品整理、報告書作成					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	発掘調査面積（予定）			㎡	-	0	1,540	700
		発掘調査面積（実績）			-	-	0	153	-
事業の コスト	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算			
	事業 内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	664	14,749			
		一般財源	(千円)	0	0	0			
		事業費計	(千円)	0	664	14,749			

## 実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	突発的な民間開発に伴う緊急発掘調査に対応する。 内容：現地調査、出土品整理、報告書刊行。	突発的な民間開発に伴う緊急発掘調査に対応する。 内容：現地調査、出土品整理、報告書刊行。	突発的な民間開発に伴う緊急発掘調査に対応する。 内容：現地調査、出土品整理、報告書刊行。

## 1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由 突発的な民間開発に伴う発掘調査に対して最善の処置をとり、事業の円滑な進行を行いつつ、市内埋蔵文化財の保護に努める。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		突発的な民間開発に伴う発掘調査に対して最善の処置をとり、事業の円滑な進行を行いつつ、市内埋蔵文化財の保護に努める。	

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		文化財普及啓発事業				所管	部	教育文化部	
							課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務		
							ソフト事業		
							補助事業		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用							
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		事業開始	**
					事業終了		**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	文化財保護法 第4条					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	公共の財産である文化財について、様々なイベントを通して周知を図り、地域の歴史に対する理解を深める。					
事業の内容	土器作りや勾玉作り等を当時の技法で製作体験する。 市内に残る歴史資料や、発掘調査で得た出土品などをふるさと歴史館、郷土資料館等で展示・公開する。 専門家を招いて市内の文化財に関する講演会を開催する。		令和 2年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み古代体験の代替としてホームページ上にペーパークラフトを公開</li> <li>「二日市荒川神社絵馬特別展」の開催及び説明会の実施</li> <li>石川中央都市圏考古資料展「北加賀の弥生時代」の開催</li> <li>郷土資料館企画展「野々市を通る!!」の開催及び解説講座の実施</li> <li>ふるさと歴史講演会「巨大！絵馬に描かれた物語」の開催</li> </ul>					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	普及啓発事業参加者数		人	3,000	2,600	1,694	3,000	
		文化財説明看板設置数 ( )は当該年度の設置数		基	55	56 (0)	58(2)	58(0)	
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算		
		国庫支出金 (千円)	1,000	0	0				
		県支出金 (千円)	0	0	0				
		地方債 (千円)	0	0	0				
		その他 (千円)	57	60	60				
		一般財源 (千円)	1,115	847	419				
		事業費計 (千円)	2,172	907	479				

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	古代体験（歴史館） 企画展（歴史館・郷土資料館） 有識者による歴史講演会	古代体験（歴史館） 企画展（歴史館・郷土資料館） 有識者による歴史講演会	古代体験（歴史館） 企画展（歴史館・郷土資料館） 有識者による歴史講演会

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	市民に文化財を広く啓発するため、各種企画展やイベントを継続して行っていく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市民に文化財を広く啓発するため、各種企画展やイベントを継続して行っていく。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		デジタル資料館事業				所管	部	教育文化部		
							課	文化課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	電子データ化した野々市市の埋蔵文化財・民俗資料・歴史資料等を、市のホームページ上に開設するデジタル資料館において広く一般公開する。					
事業の内容	市のホームページにデジタル資料館を開設し、市が作成した文化財関係の電子データを分野別に順次紹介していくものである。 平成24年度：重文「御経塚遺跡出土品」コンテンツ作成 平成25年度：デジタル資料館開設 平成27年度：外国語コンテンツ追加		令和 2年度活動実績	広報等でデジタル資料館の周知活動を行った。						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	デジタル資料館webページへのアクセス数			人/年	1,500	3,255	4,417	4,500	
		(デジタル資料館紹介ページへのアクセス数)			人/年	-	256	178	300	
事業の コスト	事業費	区分	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算					
		国庫支出金 (千円)	0	0	0					
		県支出金 (千円)	0	0	0					
		地方債 (千円)	0	0	0					
		その他 (千円)	0	0	0					
		一般財源 (千円)	156	0	0					
		事業費計 (千円)	156	0	0					

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	市内文化財等のデジタルデータ化、およびデジタル資料館での掲載	市内文化財等のデジタルデータ化、およびデジタル資料館での掲載。	市内文化財等のデジタルデータ化、およびデジタル資料館での掲載。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	デジタル資料館のコンテンツを拡充していくとともに、デジタル資料館のさらなる周知を目指す。
	B	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		デジタル資料館のコンテンツを拡充していくとともに、デジタル資料館のさらなる周知を目指す。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		重要文化財御経塚遺跡出土品保存修理事業				所管	部	教育文化部	
							課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法31条					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の保存管理について万全を期し、貴重な文化遺産の展示公開を行い、郷土に対する誇りと文化財愛護精神を高める。				
事業の内容	重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の4,219点について、展示及び保存・管理の万全を期すため、収蔵整理・展示作業を実施した。また、保存修理事業として、土器・土製品542点のうち257点の破損防止のため詳細な復元作業、骨角器23点の強化処理を文化庁の指導をもとに順次行う。		令和 2年度活動実績	・土器13点について詳細復元を実施					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	重要文化財指定の土器・土製品・骨角器保存修理完了点数。うち（ ）は当該年度の修理点数			点	280	143 (15)	156 (13)	168 (12)
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算			
		国庫支出金	(千円)	3,060	2,900	2,000			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	0	0			
		一般財源	(千円)	3,284	3,141	2,149			
		事業費計	(千円)	6,344	6,041	4,149			

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	指定品の収蔵展示作業と、土器8点の詳細復元作業を実施。	指定品の収蔵展示作業と、土器9点の詳細復元作業を実施。	指定品の収蔵展示作業と、土器11点、土製品1点の詳細復元作業を実施。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の保存管理について万全を期し、貴重な文化遺産の展示公開を行うとともに、修理が終了した土器・土製品を外部に貸し出すことによって御経塚遺跡をアピールする。また、郷土に対する誇りと文化財愛護精神を高める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の保存管理について万全を期し、貴重な文化遺産の展示公開を行うとともに、修理が終了した土器・土製品を外部に貸し出すことによって御経塚遺跡をアピールする。また、郷土に対する誇りと文化財愛護精神を高める。		



令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		文化財保存修理事業				所管	部	教育文化部	
						課	文化課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 2 ののいちの歴史再発見				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ハード事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第113・115・116条					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	老朽化が進む国指定史跡の再整備の実施は、市民に文化財の魅力の再発見を促すとともに、文化遺産による野々市ブランドの確立と市内外に誇れるまちづくりを目指すものである。				
事業の内容	末松廃寺跡は、指定地内の発掘調査を行って、史跡の保存整備を実施する。御経塚遺跡については、末松廃寺跡の再整備後に計画を検討する。これらの事業については、有識者による委員会によって方針を策定し実行する。		令和 2年度活動実績	発掘調査を実施（金堂北西部73㎡） 現地見学会の実施（来場者約90名） 野々市市遺跡調査指導委員会の開催（2回）					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	末松廃寺跡 発掘調査、再整備の進捗			%	100	64	68	70
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算			
		国庫支出金	(千円)	3,682	2,908	2,990			
		県支出金	(千円)	785	636	598			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	0	0			
		一般財源	(千円)	2,897	2,362	2,427			
事業費計		(千円)	7,364	5,906	6,015				

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	発掘調査を実施する（金堂）	発掘調査を実施する（講堂）	発掘調査を実施する（講堂）

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	「女子像が線刻された土製品」の発見など市民の末松廃寺跡に対する関心が高まっており、再整備に先立つ発掘調査によって史跡の新たな資料が得られている。今後も有識者による委員会及び県・文化庁の指導を仰ぎながら再整備につながる情報を得るための発掘調査を実施し、調査の進捗に合わせて適宜事業計画を見直しながら推進する。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		「女子像が線刻された土製品」の発見など市民の末松廃寺跡に対する関心が高まっており、再整備に先立つ発掘調査によって史跡の新たな資料が得られている。今後も有識者による委員会及び県・文化庁の指導を仰ぎながら再整備につながる情報を得るための発掘調査を実施し、調査の進捗に合わせて適宜事業計画を見直しながら事業を推進する。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		文化財施設管理事業				所管	部	教育文化部		
							課	文化課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務			
							ソフト事業			
							単独事業			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
						事業開始	**	年度		
						事業終了	**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	文化財保護法第4条 野々市市郷土資料館条例第3条 野々市市ふるさと歴史館条例第4条					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市内の歴史や文化財に関する資料を展示し歴史に対する理解を深め、住民に生涯学習の機会を提供する。					
	事業の内容	市内の歴史や文化財に関する資料を展示する。郷土資料館とふるさと歴史館を管理・運営し、市民及び市外の人へ野々市市の文化を発信する。		令和 2年度活動実績	ふるさと歴史館の管理・運営 郷土資料館の管理・運営					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	来館者数(郷土資料館)			人	-	4,000	4,000	4,000	
		来館者数(ふるさと歴史館)			人	-	4,400	4,400	4,400	
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0				
		県支出金	(千円)	0	0	0				
		地方債	(千円)	0	0	0				
		その他	(千円)	0	0	0				
		一般財源	(千円)	10,991	10,871	11,241				
		事業費計	(千円)	10,991	10,871	11,241				

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	郷土資料館・ふるさと歴史館の管理・運営	郷土資料館・ふるさと歴史館の管理・運営	郷土資料館・ふるさと歴史館の管理・運営

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	引き続き、適切な管理運営を行っていく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		引き続き、適切な管理運営を行っていく。		

# 令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

## 事業概要

事務又は事業の名称		中林土地区画整理事業に伴う発掘調査				所管	部	教育文化部		
							課	文化課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ハード事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業			
	実施根拠となる 分野別計画	野々市市中林土地区画整理事業	根拠法令	文化財保護法93条・99条						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	中林土地区画整理地区内に分布する遺跡の発掘調査を実施し、事業の円滑な進行に資するとともに、貴重な埋蔵文化財を的確に記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。					
事業の内容	中林土地区画整理事業地区内に分布する末松遺跡・上林インガネ遺跡の発掘調査を実施する。内容は、現地調査、出土品整理、報告書刊行である。		令和 2年度活動実績	末松遺跡 現地調査 ・都市計画道路・調整地・区画道路 ・面積2,630㎡ 出土品整理作業 ・令和元年度・2年度調査分						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	発掘調査面積（予定）			㎡	30,870	2,100	2,810	1,900	
		発掘調査面積（実績）			㎡	-	1,256	2,630	-	
事業のコスト	事業内訳	区分	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算					
		国庫支出金 (千円)	0	0	0					
		県支出金 (千円)	0	0	0					
		地方債 (千円)	0	0	0					
		その他 (千円)	0	30,954	38,097					
		一般財源 (千円)	24,192	8,500	8,200					
		事業費計 (千円)	24,192	39,454	46,297					

## 実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	現地調査 出土品整理 報告書作成	現地調査 出土品整理	現地調査 出土品整理

## 1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	中林土地区画整理地区内に所在する遺跡の発掘調査を実施し、事業の円滑な進行に資するとともに、貴重な埋蔵文化財を的確に記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		中林土地区画整理地区内に所在する遺跡の発掘調査を実施し、事業の円滑な進行に資するとともに、貴重な埋蔵文化財を的確に記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。		

# 令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

## 事業概要

事務又は事業の名称		西部中央土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査				所管	部	教育文化部	
							課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ハード事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業		
	実施根拠となる 分野別計画	野々市市西部中央地区土地区画整理事業	根拠法令	文化財保護法93条・99条			事業の開始・終了年度		
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	西部中央地区土地区画地区内に分布する遺跡の発掘調査を実施し、事業の円滑な進行に資するとともに、貴重な埋蔵文化財を的確に記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。					
事業の内容	西部中央地区土地区画地区内に分布する田尻ナワシロ遺跡・田尻ジツタ遺跡・蓮花寺アカグロ遺跡の発掘調査を実施する。内容は、現地調査、出土品整理、報告書刊行である。		令和 2年度活動実績	埋蔵文化財発掘調査 現地調査 蓮花寺アカグロ遺跡 2,400㎡ 出土品整理					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	発掘調査面積（予定）			㎡	9,260	2,500	2,400	2,336
		発掘調査面積（実績）			㎡	-	2,325	2,400	-
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0		0		
		県支出金	(千円)	0	0		0		
		地方債	(千円)	0	0		0		
		その他	(千円)	22,895	6,519		16,144		
		一般財源	(千円)	-1,293	6,521		16,144		
		事業費計	(千円)	21,602	13,040		32,288		

## 実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	現地調査 出土品整理	出土品整理	出土品整理 報告書作成

## 1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	西部中央土地区画整理地区内に分布する遺跡の発掘調査を実施し、区画整理事業の円滑な進行に資するとともに貴重な埋蔵文化財を適切に記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		西部中央土地区画整理地区内に分布する遺跡の発掘調査を実施し、区画整理事業の円滑な進行に資するとともに貴重な埋蔵文化財を適切に記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		文化振興総務費				所管	部	教育文化部		
							課	文化課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化				区分	自治事務			
							ソフト事業			
							単独事業			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進								
	行政改革 推進項目	08 協働のネットワークづくり				事業の開始・終了年度				
					事業開始	昭和56	年度			
					事業終了	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画			根拠法令	該当なし					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市文化協会、ジュニア文化・芸術サークル、郷土芸能伝承団体、一般市民に			事業の目的	「芸術文化の香り高いまち」づくりの推進のため、市文化協会及びその加盟団体、ジュニア文化・芸術サークルの活動を支援し、自主的な運営を促す。また、じよんから踊りの普及促進や郷土芸能伝承保存を進める。					
事業の内容	市文化協会及びジュニア文化・芸術サークル、郷土芸能伝承団体への活動助成 じよんから踊り講習会の開催 文化活動団体への助成			令和 2年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市文化協会への助成及び事務局の体制づくり</li> <li>ジュニア文化・芸術サークルへの助成 (4団体)</li> <li>郷土芸能伝承団体への活動助成 (24団体)</li> <li>文化活動団体への活動助成 (2団体)</li> </ul> なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により、じよんから踊り講習会は中止とした。					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	踊り講習会受講者数			人	280	233	中止	中止	
		市文化協会加盟団体数			団体	18	16	17	17	
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0		0			
		県支出金	(千円)	0	0		0			
		地方債	(千円)	0	0		0			
		その他	(千円)	0	0		2,400			
		一般財源	(千円)	6,342	4,668		4,492			
		事業費計	(千円)	6,342	4,668		6,892			

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	市文化協会の運営 ジュニア文化・芸術サークルの広報支援 伝承団体への活動助成 文化活動団体への活動助成	市文化協会の運営 ジュニア文化・芸術サークルの広報支援 伝承団体への活動助成 文化活動団体への活動助成	市文化協会の運営 ジュニア文化・芸術サークルの広報支援 伝承団体への活動助成 文化活動団体への活動助成

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了 (今年度中) F 統合 (今年度中) G 廃止 (今年度中)	理由	市文化協会の運営について、協会事務局と協議検討していく。ジュニア文化・芸術サークルについては、会が継続的に活動していけるよう、会員募集を引き続き広報等で掲載し、適宜サポートも行っていく。文化活動支援事業においても、自主的・新規性のある事業を行う団体へ活動助成を行っていく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市文化協会事務局の運営について、協会側と協議検討を続けていく。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		市美術展			所管	部	教育文化部	
						課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化			区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進				ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし				単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし	事業の開始・終了年度			
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民（市内に在住・通勤・通学している人、市内の絵画教室・サークルに通っている人）に		事業の目的	市民の美術活動の振興とその鑑賞の機会を設け、芸術文化の高揚を図る。			
事業の内容	美術作品の募集、審査、展示会の開催、優秀作品受賞者への表彰式を行う。		令和 2年度活動実績	新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業中止とした。				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	美術展入場者数		人	2,000	1,856	中止	中止
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	0		
		県支出金	(千円)	0	0	0		
		地方債	(千円)	0	0	0		
		その他	(千円)	44	0	45		
		一般財源	(千円)	596	35	584		
		事業費計	(千円)	640	35	629		

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・より多くの市民に、地域の貴重な芸術文化が鑑賞できる身近なイベントであることを周知するよう努める。 ・展示方法を検討していく	・より多くの市民に、地域の貴重な芸術文化が鑑賞できる身近なイベントであることを周知するよう努める。 ・展示方法を改善する	・より多くの市民に、地域の貴重な芸術文化が鑑賞できる身近なイベントであることを周知するよう努める。 ・展示方法を検討する

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	今後も出品数と来場者の増加につながるよう美術展開催の周知に努める。学びの杜ののいちカレードでの開催が定着し、より広い層の市民に美術活動を広げていく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		今後も出品数と来場者の増加につながるよう美術展開催の周知に努める。学びの杜ののいちカレードでの開催が定着し、より広い層の市民に美術活動を広げていく。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		椿まつり事業			所管	部	教育文化部		
						課	文化課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化			区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進				ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし				単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市・市民が市民に		事業の目的	「郷土を愛し緑豊かな住みよいまちづくり」を推進するため、市指定花木「椿」を介して各種行事を開催し、文化的な潤いのある地域環境と「賑わい」を創出する。				
	事業の内容	(フォルテ) アート・オブ・ツバキ、椿オリジナルステージ、折り紙コーナー、お茶席、花と緑の市、特産物市、つばき食堂など (のいち椿館) 椿館ガイドツアーの実施など (教育センター) 囲碁・将棋コーナー (協賛企画) ボランティアガイドののいち里まち倶楽部による市内ツアー 運営及びそれら全般に関わる実行委員会等の開催		令和 2年度活動実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小して開催。実行委員会など会議の開催（全11回）、近隣事業所・関係者・広報機関へのまつりPR、椿作品の募集・展示、市内特産物の物販等				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度		
	成果指標	椿まつり来場者数	人	7,000	中止	2,520	6,000		
事業のコスト	事業費	区分	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算				
		国庫支出金 (千円)	0	0	0				
		県支出金 (千円)	0	0	0				
		地方債 (千円)	0	0	0				
		その他 (千円)	0	0	0				
		一般財源 (千円)	525	4,285	3,500				
		事業費計 (千円)	525	4,285	3,500				

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	「椿」を通して、地域に親しみを持ってもらえるようなイベントを検討していく。		

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業規模は例年より縮小しての開催とした。通常開催となつてからも、国際優秀つばき園に認定されている「野々市中央公園」を含め、椿まつりをさらに発信するべく、周知や催事の在り方を検討していく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		国際優秀つばき園に認定されている「野々市中央公園」の魅力をさらに発信するべく、周知や催事の在り方を検討していく。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		文化会館管理				所管	部	教育文化部		
							課	文化課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化				区分	自治事務			
							ソフト事業			
							単独事業			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
						事業開始	昭和62	年度		
					事業終了	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	該当なし			根拠法令	該当なし					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に			事業の目的	芸術・文化の中心施設として浸透している文化会館フォルテの維持管理					
事業の内容	・文化会館及び駐車場の借地用地に対する借地料の支払い ・文化会館の維持管理			令和 2年度活 動実績	・借地料の支払い ・設備の改修					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	(数値目標設定になじまない)			**	**	**	**	**	
事業の コスト	事業 内訳	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0				
		県支出金	(千円)	0	0	0				
		地方債	(千円)	0	0	0				
		その他	(千円)	372	372	372				
		一般財源	(千円)	7,218	8,022	13,222				
		事業費計	(千円)	7,590	8,394	13,594				

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	文化会館の運営・管理	文化会館の運営・管理	文化会館の運営・管理

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	文化会館管理上、必要な事業であり、設備改修についても計画的に進めていく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		文化会館管理上、必要な事業であり、設備改修についても計画的に進めていく。		



令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		芸術鑑賞事業				所管	部	教育文化部		
							課	文化課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化				区分	自治事務			
							ソフト事業			
							単独事業			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
						事業開始	**	年度		
					事業終了	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画			根拠法令	該当なし					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が、市内中学生と、市内小学校5年生に			事業の目的	子どもたちに優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養を図る。					
事業の内容	1. スクールシアター 2. オーケストラ鑑賞教室：オーケストラ・アンサンブル金沢 3. 古典芸能鑑賞教室：市能楽愛好会、雅瑜峰会（市音楽文化協会所属）、市民謡協会による公演			令和 2年度活動実績	新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止。 スクールシアター（市内小学校5年生）、オーケストラ鑑賞（布水中学校）、古典芸能鑑賞（野々市中学校）は次年度へ繰越とした。					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない			-	-	-	-	-	
事業の コスト	事業 内訳	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算				
		国庫支出金	(千円)	0	0	0				
		県支出金	(千円)	0	0	0				
		地方債	(千円)	0	0	0				
		その他	(千円)	0	0	0				
		一般財源	(千円)	496	0	1,049				
		事業費計	(千円)	496	0	1,049				

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	野々市中学校:オーケストラ鑑賞教室 市内5小学校の5年生:スクールシアター	布水中学校:古典芸能鑑賞教室 市内5小学校の5年生:スクールシアター	野々市中学校:古典芸能鑑賞教室 布水中学校:オーケストラ鑑賞教室 市内5小学校の5年生:スクールシアター

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	鑑賞機会の少ない「生の舞台芸術」に小中学生のうちから触れることで、鑑賞能力の向上を図る。 小学生は5年生時に1回（スクールシアター）、中学生は在学中の3年間にオーケストラ鑑賞教室と古典芸能鑑賞を必ず1回は鑑賞できるよう、2つの中学校が公平になるように実施していく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		小学生は5年生時に1回（スクールシアター）、中学生は在学中の3年間にオーケストラ鑑賞教室と古典芸能鑑賞を必ず1回は鑑賞できるよう、2つの中学校が公平になるように実施していく。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		情報文化振興財団				所管	部	教育文化部		
							課	文化課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化				区分	自治事務			
							ソフト事業			
							単独事業			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
						事業開始	平成16	年度		
					事業終了	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画			根拠法令	文化芸術振興基本法 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が（公財）野々市市情報文化振興財団・市民に			事業の目的	市民の教養向上と芸術文化の振興を図り、豊かで潤いのあるマルチメディア都市の形成と住民福祉の向上に寄与する。					
事業の内容	指定管理者である（公財）野々市市情報文化振興財団が実施する文化会館フォルテの管理委託と施設運営及び財団の自主事業に対する補助			令和 2年度活動実績	・施設の管理委託 ・施設運営と財団が行う自主事業に対する補助					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	文化会館フォルテ来場者数			人	160,000	82,000	77,000	50,000	
		情報交流館カメラリア利用者数			人	75,000	92,000	63,000	56,000	
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0				
		県支出金	(千円)	0	0	0				
		地方債	(千円)	0	0	0				
		その他	(千円)	0	0	0				
		一般財源	(千円)	78,182	92,513	71,100				
		事業費計	(千円)	78,182	92,513	71,100				

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	自主事業の充実と新たな事業の研究	自主事業の充実と新たな事業の研究	自主事業の充実と新たな事業の研究

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	財団自主事業により、マルチメディア・芸術文化に親しむ機会の提供と市民参加型の芸術文化の活性化の促進を継続して行う。 事業指標の目標値は、新型コロナウイルス感染症対策による閉館等を考慮した数値にした。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		財団自主事業により、マルチメディア・芸術文化に親しむ機会の提供と市民参加型の芸術文化の活性化の促進を継続して行う。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		椿サミット交流事業				所管	部	教育文化部		
							課	文化課		
事業の概要	総合計画 該当施策	0 該当なし				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進					ハード・ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	なし		根拠法令	なし					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が全国椿サミット協議会加入自治体・全国の椿愛好家に		事業の目的	椿を通じた交流を図り、野々市ブランドの発信を行う					
	事業の内容	日本ツバキ協会及び国際ツバキ協会加入 全国椿サミットへの参加 椿関係団体への活動補助		令和 2年度活 動実績	第31回全国椿サミット松江大会への参加、 日本ツバキ協会野々市支部に対する松江大会参加費補助 ※松江大会が新型コロナウイルスの影響で中止になり活動実績なし					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	全国椿サミット大会への参加			回	1	2	中止	1	
事業の コスト	事業 内訳	区分	平成31年度		令和 2年度		令和 3年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0				
		県支出金	(千円)	0	0	0				
		地方債	(千円)	0	0	0				
		その他	(千円)	0	0	0				
		一般財源	(千円)	273	13	440				
		事業費計	(千円)	273	13	440				

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	日本ツバキ協会法人会費 国際ツバキ協会法人会費 日本ツバキ協会野々市支部への助成 サミット大会参加費等	日本ツバキ協会法人会費 国際ツバキ協会法人会費 日本ツバキ協会野々市支部への助成 サミット大会参加費等	日本ツバキ協会法人会費 国際ツバキ協会法人会費 日本ツバキ協会野々市支部への助成 サミット大会参加費等

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	次回開催予定の全国椿サミットへ参加し、野々市ブランドのPR及び椿を通じた交流を図る。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		全国椿サミットに、より多く野々市市から参加し、野々市市をPRしながら、全国の椿愛好会や関係自治体との交流を図る。		

# 令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

## 事業概要

事務又は事業の名称		北国街道にぎわい創出プロジェクト（文化課分）				所管	部	教育文化部	
							課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ハード・ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	なし		事業の開始・終了年度			
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が旧北国街道周辺エリアに		事業の目的	歴史的・文化的な地域資源が集積する野々市中央地区ににぎわいを創出する。		事業開始	H30	年度
事業の内容	歴史的・文化的な地域資源が集積する旧北国街道ににぎわいを創出するため、拠点施設の整備やイベントの開催等を通じて、ヒトづくり・モノづくり・コトづくりを推進していく。 また、喜多家住宅の管理・運営は、民間事業者への委託を目指す。		令和 2年度活動実績	北国街道まちづくり基本計画の策定 重要文化財喜多家住宅保存活用計画の策定 喜多家で酒造していた日本酒「狸々」のサンプル酒の製造 重要文化財喜多家住宅公有化		事業終了	***	年度	
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	民間事業者による文化財施設の管理・運営の進捗		%	100	40	60	70	
事業のコスト	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算			
	事業内訳	国庫支出金	(千円)	0	3,770		3,750		
		県支出金	(千円)	0	700		750		
		地方債	(千円)	0	0		0		
		その他	(千円)	9,100	0		0		
		一般財源	(千円)	950	12,305		10,592		
		事業費計	(千円)	10,050	16,775		15,092		

## 実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	官民連携による文化財施設を活用した北国街道周辺のにぎわい創出の検討	官民連携による文化財施設を活用した北国街道周辺のにぎわい創出の検討	官民連携による文化財施設の管理運営の事業実施

## 1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	北国街道まちづくり基本構想を基に北国街道まちづくり基本計画を策定、並行して喜多家住宅保存活用計画を策定する。喜多家で製造していた日本酒「狸々」を復活し、サンプル酒を製造して花と緑ののいち樺まつりで試飲会を実施した。
	C	A			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		官民連携による文化財施設の活用方法について、あらゆる角度から事業手法を検討し、北国街道エリアに合った実施体制を構築すること		

#### ・(4-2) 学識経験者からの意見

文化振興においては、本物の優れた芸術・美術を直に鑑賞することは子供たちにとって大変貴重であり、感性や情操を育む上で非常に大切であります。引き続き今後も事前事後指導などを充実させ、子供たちの豊かな情操の涵養に繋げていただきたいと思います。地域の伝統芸能や伝統行事については、保存・伝承の推進と支援が望まれます。

また、全国椿サミットへの参加を通じて、新たな交流が生まれることを期待し、野々市のシンボルである「椿」を全国へ発信していただきたいと思います。

文化財のなかでも、郷土の歴史や伝統行事などについては、子どもから大人まで市民にわかりやすく発信することが求められています。文化財企画展・デジタル資料館の更なる充実、文化財説明板と郷土資料館やふるさと歴史館の活用、末松廃寺跡再整備に伴う発掘調査の説明会及び事業情報発信等による、ふるさと教育の教材の充実を推進していただきたいと思います。

#### ・(4-3) 今後の方針

##### 【文化振興関係】

- ① 本物の優れた文化や舞台芸術に触れる機会の拡充及びいしかわ百万石文化祭 2023 開催に向けて文化の継承と発展に努めます。
- ② 文化団体を支援すると共に活動の拡大を促し、市民が文化に親しみやすい環境づくりに努めます。
- ③ 地域芸術家との協働により、若い世代から一般の方々が芸術・美術に触れることのできる機会の拡充に努めます。
- ④ 地域に伝わる郷土芸能の保存及び伝承に努めます。
- ⑤ 椿まつりにおいて、各種イベントを充実させ、賑わいを創出すると同時に市内外に向けてツバキを通したまちづくりの発信に努めます。

##### 【文化財関係】

- ⑥ 文化財企画展や古代体験学習、歴史講演会、学校での出前講座など、郷土の歴史や伝統行事の知識を深める普及啓発事業の更なる充実に努めます。
- ⑦ 史跡末松廃寺跡の再整備に向けた発掘調査と整備方針の検討を進め、市民に対し調査状況等の情報提供に努めます。
- ⑧ 子どもたちにも郷土の歴史や文化に興味・関心を持たせるため、わかりやすい教材作りを検討します。
- ⑨ 富樫氏の漫画本「八曜の剣」を広く周知することに努め、ふるさと教育の充実と富樫氏の発信を図ります。
- ⑩ 地域に残る各文化財をわかりやすく解説した説明板や文化財マップ等を利用して市民や観光客への周知に努めます。
- ⑪ 喜多家住宅・郷土資料館・ふるさと歴史館の活用の推進を図ります。
- ⑫ 国指定重要文化財である喜多家住宅の計画的な保存活用の促進を図り、日本酒「猩々」の復活等、本町通りのにぎわい創出に努めます。
- ⑬ 市のホームページで文化財資料の公開・活用を行うデジタル資料館の新たなコンテンツ作成等の充実に努め、市民に広く周知します。
- ⑭ 重要文化財「石川県御経塚遺跡出土品」の公開展示や文化財資料展示について充実に努めます。
- ⑮ 無形文化財指定に向けた獅子舞や野菜神輿等の調査を行っていきます。